

I. 総 括



消防本部・中央消防署

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢

薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甑島、中甑島、下甑島で構成される甑島区域で構成されています。

東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甑島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有しています。

本市が有するこれらの多彩で美しい自然環境は、川内川流域県立自然公園、蘭牟田池県立自然公園、甑島県立自然公園に指定され、人々に親しまれています。

この広域に及ぶ当局管内面積は県内では最大の 683.50 km²である。

消防本部の位置 東経 130° 18′
北緯 31° 49′



2. 消防本部・署の沿革

年 月	概 要
平成16年10月12日	薩摩川内市が誕生し、薩摩川内市消防局発足
10月12日	伊豫田輝雄初代消防局長に就任
10月12日	東部消防署祁答院分署運用開始
11月17日	救急救命士 17 人となる
平成17年 4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から携帯用無線機 15 式、空気呼吸器 1 式、空気呼吸器用ボンベ 10 本の貸与を受ける
5 月 9 日	救急救命士 18 人となる
6 月 9 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加（静岡県静岡市清水区）～ 12 日
10月 1 日	西部消防署高規格救急車等による高度救急業務を開始
11月 4 日	東部消防署祁答院分署新庁舎落成式挙行（薩摩川内市祁答院町下手 43 番地 1 号）
11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（沖縄県うるま市）～ 24 日
11月24日	救急救命士 19 人となる
平成18年 1 月15日	伊豫田消防局長退任
1 月16日	桑原道男第 2 代消防局長に就任
2 月21日	アステラス製薬株式会社より救急自動車（2 B）の寄贈を受ける
4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器 6 式、空気呼吸器用ボンベ 10 本、空気呼吸器用面体 40 基の貸与を受ける
5 月22日	救急救命士 21 人となる
6 月 1 日	「住宅用火災報知器」の設置が義務づけられる
7 月22日～23日	鹿児島県北部豪雨災害 消防職員・消防団員 延 1,252 名出場
10月20日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（北九州市）～ 21 日
12月 7 日	総務省消防庁主催「第 9 回全国消防広報コンクール」広報紙部門優秀賞受賞
平成19年 1 月23日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器 6 式、空気呼吸器面体 40 個、空気呼吸器用ボンベ 10 本、液晶プロジェクター 1 台、防護マスクフィルター 532 個の貸与を受ける
5 月14日	救急救命士 24 人となる
5 月16日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
10月12日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（大分県中津市）～ 13 日
平成20年 1 月14日	桑原消防局長退任
1 月15日	上村健一第 3 代消防局長に就任
4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器用ボンベ 10 本、空気呼吸器面体 10 個、エアータン 32 基、放射性廃棄物用ドラム缶 1 個、サーベイメーター用アルミ収納ケース 4 個、防護マスクフィルター 794 個、ポケット線量計 3 個の貸与を受ける
4 月28日	救急救命士 26 人となる
9 月12日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎県佐世保市）～ 22 日
平成21年 4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器 6 式、空気呼吸器面体 30 個、空気呼吸器用ボンベ 10 本、エアータン 5 基、防護マスク 195 個、防護マスクフィルター 1000 個、防護服（アノラック型、タイベック型）50 着、液晶プロジェクター 1 台、DVD プレーヤー 5 台、液晶プロジェクターケース 1 個、ポケット線量計 20 個、携帯無線機用スピーカーマイク 15 個の貸与を受ける